

## 消費税で見える世の中の暮らし

所沢市立所沢中学校

一年 野口 紗希

私は、暮らしの中で、私たちに最も身近な税金、「消費税」について、興味を持ちました。税金には、色々な種類があるけれど、消費税だけは、「ものを買ったときに物の単価にプラスして払うお金」というイメージが定着しているし、何より、私たちが子どもも払う税だからです。

消費税は、払うお金が多くなってしまいうから、無い方がいい、しかも十パーセントもあるのはおかしい、と思ったので、十パーセントという日本の消費税は、世界から見ると、多いのか少ないのか、調べました。すると、日本は十パーセントなのに比べて、二十七パーセントの国を見つけました。ハンガリーでした。ハンガリーの家は、お金持ちが多いのかな、と最初は思ったのですが、理由を知って、驚きました。その理由のひとつに、消費税の使い道についてが関わっていました。消費税は、社会保障や国民の健康のために使われていました。つまり、消費税が多いほど、その取組が強化でき、国民が安心して暮らせる国になっていくことができるというわけです。私は、十パーセントだけでも多いと感じていたけど、安心、安全に暮らせるなら消費税はあった方がいいなと確信しました。本当の安心は、お金では買えないけれど、この小さな消費税で、社会の力になれるなら、それがいいなと思いました。

さらに、もう一つ税について気になることがあります。それは、「軽減税率」についてです。いつも、百円均一で文房具を買うときは消費税が十パーセントなおかしやさんでおかしを買うときは、消費税が八パーセントになっていました。なんとなく、小さい頃テレビで、「食料品などは八パーセントのままです」と言っていたことが頭の片隅にあったので、食料品は消費税が少なくなるのかな、と思っていました。だけど、小さい頃の記憶なのでもう一回調べてみることにしました。すると、軽減税率の対象になるのは「酒類及び外食を除く食料品と新聞」でした。そして、これらは日常生活に必要なものであり、増税によって、消費する人の負担を軽くするためにできました。私は、ただ増税するだけでなく、政府が消費者の目線で考えてくれることだと思いました。

消費税について考えるだけで、人々の生活について、色々なことが知れたので、消費税は、私たちの生活に深く関わっているな、と感じました。安心な暮らしを守るための消費税だと分かったので、消費税を払うときには、それを思い出したいと思います。